

教育委員会の点検・評価に関する報告書

概要版 対象年度 令和6年度

令和7年8月作成

点検・評価報告書とは？

守口市教育委員会では毎年、前年度の教育行政施策に関する点検及び評価を行い、報告書を作成しています。

これは、市民の皆さんに本市の教育行政を知っていただくとともに、次年度以降の教育行政に反映させることを目的としています。

「教育委員会の点検・評価に関する報告書」には、「具体的な取組み」、「学識経験者の意見」、「図表等のデータ」及び「用語の意義」等について詳しく掲載しており、この概要版は、その中の項目の一覧と評価の結果を掲載したものです。

金田小学校の図書館の様子



ビブリオバトルの様子



詳細は、「教育委員会の点検・評価に関する報告書 対象年度令和6年度」をご覧ください。
報告書は、市ホームページ(<http://www.city.moriguchi.osaka.jp/>)にも掲載している他、次の場所にも設置しています。

- ◇市立図書館 ◇文化センター
- ◇各コミュニティセンター ◇本庁1階 総合案内
- ◇本庁2階 情報コーナー ◇事務局各課窓口

本編と過去の
報告書はこちらから！



～『教育委員会の点検・評価に関する報告書』及び『概要版』に関する問合せは～

守口市教育委員会事務局 教育部 教育総務課

TEL:06-6998-3338 / FAX:06-6995-2505

自己評価の目安について

<自己評価の目安>		自己評価結果
◎	令和6年度実績が目標値を大きく上回る(120%以上)	9
○	令和6年度実績が目標値に到達	9
△	令和6年度実績が目標値に未達(令和5年度実績値同程度±5%)	42
×	令和6年度実績が目標値を下回る(令和5年度実績値未満)	2

※令和7年度末の目標に対する令和6年度末時点の評価です。

評価一覧

(※一部評価できない項目あり)

本市教育施策に対し、12の重点項目を掲げ、32の取組みを設定しています。この取組みの目標に対し、アンケートや調査項目の現状値を用いて評価をしています。

基本方針1 命を守る ～たくましく生きる健康と 体力づくり～	◎	○	△	×
	2	0	15	0
重点項目1 健康・体力づくりの充実				
① 運動の楽しさや大切さを感じ、自ら進んで運動する子どもの育成				
② 健康を保持・増進する生活習慣づくり				
重点項目2 安全・安心な環境づくりの推進				
① 自他の安全を守ることができる子どもの育成				
② 教職員の安全に関する意識・対応能力の向上				
③ 安全確保に向けた家庭・地域・関係機関との連携				
④ 安全・安心な学校給食の提供				
基本方針2 学力を伸ばす ～一人ひとりの学力の向上と個性・ 創造性の伸長～	◎	○	△	×
	3	5	7	0
重点項目3 授業改善の推進				
① 自ら学びに向かう子どもの育成				
② すべての子どもたちにとって「わかる・できる・探求する」ことをめざす授業づくり				
③ ICT(学習用タブレット端末とクラウド)の活用を前提とした授業づくり				
④ 情報モラル教育の充実				
⑤ 夜間学級における学びの保障				
重点項目4 自立した学習者の育成				
① 家庭学習習慣の定着				
② 読書習慣の定着				
重点項目5 支援教育の充実				
① 個に応じた支援の充実				
② 支援教育の充実に向けた教職員の指導力向上				

基本方針3 心を育てる ～人権を尊重し、豊かな人間性と 社会性の育成～	◎	○	△	×
	1	2	15	0
重点項目6 人権教育の充実				
① 自己肯定感、自己有用感の向上				
② 相談体制の充実				
③ 日本語指導が必要な児童生徒への支援				
④ 多文化共生教育の推進				
重点項目7 道徳教育の充実				
① 「考え、議論する道徳」の授業づくりの推進				
重点項目8 生徒指導、キャリア教育の充実				
① 夢や志をもって粘り強くチャレンジする姿勢の育成				
② 自他を尊重し、違いを認め合う意識・態度の育成				
③ 不登校児童生徒への支援				
④ 学校いじめ防止基本方針に基づく取組みの徹底				
基本方針4 学校力を高める ～明確なビジョンを共有した 学校経営と教職員の資質向上～	◎	○	△	×
	2	0	3	1
重点項目9 学校経営の改善				
① 学校経営計画に基づく学校運営の推進				
② 教員が子どもと向き合う時間の確保				
重点項目10 教職員の資質向上・研修の充実				
① 学び続ける教職員の育成				
② 教育公務員としての意識の醸成と法令遵守の徹底				
重点項目11 学校施設の老朽化等への対策				
① 教室施設の老朽化が進む学校の計画的な整備・改修				
基本方針5 生涯学べる社会をつくる ～学びとくすなを深め、豊かな心と 生きる力、地域力が育つまちの実現～	◎	○	△	×
	1	2	2	1
重点項目12 社会教育の振興				
① 市民による図書館利用の拡大				
② 子ども読書活動の推進及び学校図書館と市立図書館との連携および文化財の活用				
③ 青少年育成指導員連絡協議会と協力しながら実施している行事の活性化				

意見・助言をいただいた学識経験者

桃山学院大学人間教育学部 准教授
木村 明憲 先生（専門：学校教育分野）
龍谷大学文学部 教授
林 美輝 先生（専門：社会教育分野）



学識経験者からの意見(抜粋)

- 「運動の楽しさや大切さを感じ、自ら進んで運動する子どもの育成」について、様々なイベントが学校等で実施されており、子どもたちの運動に対する意欲を高めることに繋がったのではないかとと思われる。
- 「家庭学習習慣の定着」では、家で自分で計画を立てて勉強していると回答している中学生生徒が大きく増加し、全国平均を上回っている。教員が日常的に、授業において計画を立案させるといった学習形態が行われているのではないかと予想する。授業で計画を立てる経験をしたことが、家庭学習にも波及するということがとても大切であると考える。
- 「不登校児童生徒への支援」は非常に重要であると考えられる。特に学びにアクセスできる状況を確保することは急務であり、ICTを活用したオンラインでの授業や相談ができる体制が整えられていくことを期待する。
- 「学び続ける教職員の育成」について、90%以上の教員が「研修の内容を学校で役立てたり広めたりしている」と回答していることは大いに評価できる。
- 子ども読書活動の推進については、保護者の読書活動とセットで推進することを通じて、大人と子どもの読書活動の増加という相乗効果が得られる場合もある。

(※1つ評価できない項目あり)